

令和8年度江戸川区立臨海小学校学校経営方針

臨海小学校長 笠井 三恵子

「今日が楽しく明日が待ち遠しい学校」を目指します。

子どもが「安心して楽しく学ぶ学校」、そして保護者にとっても安心して子供を登校させることができる、そんな当たり前の学校を目指します。

そのために、家庭・地域・学校の連携をより一層深められるように尽力していきます。

1. 学校教育目標

「よく考える子」・・・重点目標として、「分かる・できる」の授業づくりを通して

- ① 学ぶことが楽しいと思える学習の実現を目指す。
- ② もっと学びたいと思える学習の実現を目指す。
- ③ 学びの深まりを実感し、自身の成長の実現を目指す。

「思いやりのある子」・・・学校生活の諸活動で生み出す「学び合い・協働」を通して

- ① 他者を分かろうと自ら働きかけ、「共感」する心を求めることを目指す。
- ② 他者のことを理解し、共に生きることの大切さを実感することを旨す。
- ③ 集団生活の中で、互いに支え合い、思いやりを態度や行動で表せることを目指す。

「じょうぶな子」・・・楽しく遊び、楽しく運動することを通して

- ① 遊びや様々な活動に参加し、運動習慣を伸ばすことを目指す。
- ② 給食指導などの食育の推進を図り、健康な生活を大切にする態度の育成を目指す。
- ③ 心も体も鍛え、一人一人が大切な存在であることを自覚させることを目指す。

2. 学校教育目標の具現化のための重点項目

今年度の重点目標は「よく考える子」です。

子どもが「安心して学べる学校」の基本は、一人一人が学校生活の核となる教科学習に「楽しく、意欲的・主体的になり、深い学びを実感すること」ができることが第一です。

また、「よく考える子」は、教室や学校で共に暮らす中で生まれる「学び合うこと」によって育まれます。共に活動し学校生活を送ることで、「思いやりのある子」が育まれます。学校生活は、さらに心と体の健康という「自分」に向き、「じょうぶな子」を育てることにつながります。

「よく考える子」を育てるために次のような取組みを徹底します。

- ① よき聞き手、よき読み手であること目指した「話す・聞く、読む」指導
- ② 学習の成果をノートや作品として形にして、学びの実感に結び付く「書く」指導
- ③ 対話や話し合いなどの協働活動を工夫し、「学び合い」を生み出す指導

これらは、個別最適な学びの実現や協働的な学びの実現を目指した教科指導の工夫にもつながり、「考える子」の育成につながります。同時に他者理解を通して互いに助け合い、支え合う「思いやりのある子」を育てることができます。学校が一人一人の子どもにとって「安心・安全」なものになれば、楽しく遊び、心も体も「じょうぶな子」になります。

そこで、重点目標の今年度の指標は、「話す・聞く、読む」「書く」「学び合い」指導の工夫をした授業づくりと子どもからの「授業が楽しい・分かる」の反応の増加です。